上棟情報





水田建築 浜松市西区 N様邸

天竜杉のフローリングやカウンター等を納材しました。 杉のフローリングは柔らかなさわり心地です。

祝上楝。

浜松市浜北区 S様邸

天竜桧の柱と、天竜杉の柱(五寸角)を納材しました。 柱には信頼の証、フジイチの看板を刷っています。



6月8、9日(土、日) 森のアウトレット

7月20日(土) 下草刈りツアー

域想を送って 天竜材グッズを当てよう!

抽選で3名様に 木工屋さん手製の

天竜杉・天竜桧のコースター をプレゼント!

★応募方法★

フジイチのホームページまたは情 報誌vol17を見たご感想と、 ご住所、お名前、電話番号を記載 の上、ホームページの お問い合わせフォームか FAX(053-926-2879)で弊社まで お送り下さい。

てきます。ずりも一段と大きく、力強く聞こえました。花々も咲き誇り、小鳥のさえました。花々も咲き誇り、小鳥のさえ

立: 1946年 数 : 50名 : 39.6歳

木材業製材業(立木の直接仕入)

3000万円

浜松市天竜区船明880 : 053-926-1232 053-926-2879 il: info@fujiichi.co.jp

P: http://www.fujiichi.co.jp/

フジイチの大切なお客様に

見学・体験会ご案内しています

■詳しくはお電話で! ☎053-926-1232

植林

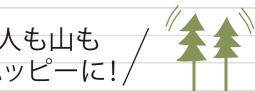
製材

建築



2013年度 天竜美林体験ツアー 第1弾

人も山も



3月30日(土)に天竜美林体験ツアーの第一弾、植林体験を開催しました。今回は材木店様から工務店様とそのお客様 木材業界外の方や、学生までと様々な方にお越しいただきました。今回の現場は風の良く通る現場だったので、苗が風 に負けてしまわないよう、深く深く植え、強く固めるように植えてもらったのですが、想定していた面積は全て植えきる事 ができました。植林終了後は山主さんのご好意で準備していただいたしいたけの菌打ちも開催。ほだ木はお持ち帰りし ていただいたので、しいたけが出るのは来年の春!? 楽しみですね!

次回の体験ツアーは体験メニューの中でも特にストイック!?な下草刈りです。お楽しみに!















平成23年台風15号が東海地区を通 過、天竜各地に風倒木をもたらした弊社 の伐出現場でも立木が被害を受ける中、 一本の松が倒れずに残った。今回、天守 門の内冠木に使われるのが、その一本松 である。(横山町大白木産)

注文寸法は長さ9m末口45cmの直材。 そもそも松丸太は曲がっているもので、直 材を探すのが難儀であった。9.6m末口 48cmで出材し、その一本松は合格品と なった。完成後は内冠木のすべてが表し でみられる。貴重な一本をぜひ見てほし

> 山林部長 内山 勝





ニューアル OPEN!

旧ホームページを制作してから6年経過しました。

この6年間にフジイチ、山、木材を取り囲む環境は変化してきて おり、情報の更新が必要になってきました。

いつも新鮮な情報をお届けするために、フジイチホームページ が生まれ変わります!

ポイントは3つ、

- 1、見やすくなった! 写真が大きく、臨場感あふれる画面になりました。
- 2、新コンテンツ登場! FSC森林認証について、など
- 3、最新情報を! 更新頻度を上げていきます。

ホームページが、フジイチや天竜材に興味を持ってもらえる一 つのきっかけとなるように、フジイチの情報をお伝えしていきま す!「フジイチ」「天竜材」でご検索下さい。

小峰裕美

新コンテンツ!

- ・世界基準の森林づくり「FSC森林認証」 ・サンプル無料提供
- ・天竜材で家を建てるなら

情報誌ダウンロード

- ・フジイチTV
- お客様の声など
 - 納材事例も充実

www.fujiichi.co.jp/

美林を守り伝える/ www.fujiichi.co.jp/ さらに見やすく

楽しくなりました。









フジイチ社員紹介

斉藤 めい (20)

昨年度、成人式をむかえた斉藤さん フジイチの入り口すぐの席でいつもお客様を出迎えてます!

今年の一月に成人式を迎えま た。たくさんの方に祝ってもらい 感謝の気持ちでいっぱいです。フ ジイチで成人を迎えることができ 本当に良かったと思いました。 今年で入社3年目になります。ま だまだ未熟ですが、社会人として 大人として成長できるよう努力し ていきます!



業別 先を読む

本の株式市場には「国策に売りなし」と謂う格言が あります。

安倍首相が提言した3本目の矢(成長戦略)に属するであ ろう「再生医療、海底資源開発、カジノ」関連の株は日の出 の勢いです。

さて、こちらも国策です「国産材率50パーセント」はどうで しょうか?国民が一つになって進むには、明るく、未来ある バラ色の進路が画けなければなりません。安ければ山側 がもたず、高ければ消費者が横を向きます。今、両者を繋ぎ 止めているのが国策(補助金)です。日本にある唯一の資源 である木材「生かすも殺すも」この1年が勝負です。

取締役常務 石野秀-

